

2004 KSC #6

# 神子元島レース 追加帆走指示書

2004年10月16日

KSC共通帆走指示書を再規定する項目のみを記述する。

主催：日本セーリング連盟（JSAF）加盟団体 外洋三崎

運営：神子元島レース実行委員

## 1 . 適用規則

- 1-1 2004 KSC #6 神子元島レース公示及び追加帆走指示書
- 1-2 2004KSC特別規定、KSC実施要項及び共通帆走指示書
- 1-3 海上衝突予防法
- 1-4 JSAF外洋特別規定 2003-2004
- 1-5 セーリング競技規則2001-2004 (以降RRSとする。)
- 1-6 IMS2004及びIMSレギュレーションズ (IMS2004)
- 1-7 JSAF ORCクラブハンディキャップル - ル、JSAF ORCクラブ 運用規定2004
- 1-8 JSAF 外洋レース規則 - 2000 (第08条は神子元島レース追加帆走指示書 付則-1 通信規定におきかえる。)

\* 上記の1-1～1-8に矛盾が生じた場合は、本追加帆走指示書が優先される。

## 2 . 公式掲示板

- 2-1 競技者に対する通告は、10月16日(土曜日)7:00以降レース本部に設置されたレース本部公式掲示板にて行う。
- 2-2 競技者に対する通告は、本追加帆走指示書で規定されている通告方法が優先される。
- 2-3 レース本部においてのフラッグの掲揚、音響による通告、指示、連絡は行わない。

## 3 . クラス旗

- 3-1 クラス旗 : “クラス旗”は用いない。

## 4 . スタートエリア : スタートエリアは佐島沖とする。

## 5 . コース

- 5-1 佐島沖(スタート) - ウェザーマーク(設置した場合反時計) - 神子元島(反時計) - 網代埼灯浮標(右に見る) - 小網代湾口(フィニッシュ)
- 5-2 ウェザーマークを設置する場合にはスターティングボートに“W旗”を掲揚する
  - 5-2-1 ウェザーマークの回航方法は、反時計回りとする。
  - 5-2-2 ウェザーマーク迄のおおよその距離、コンパス方位は、スターティングボート上に掲示する。
- 5-3 公式距離 : 99マイル

## 6 . マークの種類

- 6-1 スタートアウターマーク 黄色円筒ブイ
- 6-2 ウェザーマーク オレンジ色三角ブイ
- 6-3 フィニッシュアウターマーク 黄色円柱ブイ(夜間はブイトップにストロボライトが付く)

7. スタート

7-1 スタート日時 : 2004年10月16日(土) 10:55(スタート予告信号)

7-2 チェックイン

7-2-1 参加艇はL旗を掲揚した本部船または運営艇後方を右側に見て通過し、出走および乗員数の確認を受けなければならない。

7-3 スタート方式

7-3-1 全クラス同時スタートとする。

7-3-2 RRS 29.1及び29.3は”スタートラインのコース・サイドにある場合”を”スタートラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の内側にある場合”に置きかえて読むものとする。

7-3-3 RRS 30.1は”スタートライン又はその延長線上のコース・サイドにある場合”を”スタートラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の内側にある場合”に置きかえて読むものとする

7-3-4 スタート信号後5分を超えてからスタートラインを横切ってもスタートとは認めない

7-3-5 RRS26を適用する。また、予告信号は”JSAFクラブバージ”とする。

7-3-6 フラッグの掲揚と時間

信号	旗	音響	スタート迄の時間(分)
予告	JSAFクラブバージ 掲揚	音響1声	5
準備	P旗、I旗、Z機、I旗とZ旗又は黒色旗掲揚	音響1声	4
1分	準備信号旗 降下	長音1声	1
スタート	JSAFクラブバージ 降下	音響1声	0

掲揚旗参考例(準備信号にP旗を使用した場合)

	チェックイン		予告信号	準備信号	1分前	スタート
掲揚旗	UP	DOWN	UP	UP	DOWN	DOWN
スターティングボード						
グポートディスプレイ						

8. スターティングライン

8-1 スタート・ラインは、スターボードの端に位置するスターティング・ボート(ニライカナイ)のオレンジ旗を掲揚したマストとポートの端に位置するアウター・マークを結んだ見通し線とする。

## 9 . リコール

- 9-1 RRS29.2に該当する個別のリコール対象艇名をVHF71chで放送する場合もある。(RRS29.2への追加)
- 9-2 放送に関する救済要求は受け付けない。

## 10 . 運営艇

- 10-2 スタート艇 (ニライカナイ(スプリント10.8)) : JSAF大エンサインを掲揚する。
- 10-2 フィニッシュ艇 (ニライカナイ(スプリント10.8)) : JSAF大エンサインを掲揚する。
- 10-3 その他の運営艇 : JSAFエンサインを掲揚する。

## 11 . 公式日の出、日没時刻と公式時間

- 11-1 日没出時刻は 10月16日(土) 17:09 日出時間 10月17日(日)05:51 とする。
- 11-2 日没から日の出までの間は海上衝突予防法を適用し、RRS第2章は適用しない。
- 11-3 時間は日本標準時間(JST)を用いる。

## 12 . フィニッシュライン

- 12-1 ブルー旗を掲揚したフィニッシュ艇 (ニライカナイ) のオレンジ旗を掲揚したマストとアウターマークを結んだ見通し線とする。
- 12-2 日没後は、フィニッシュ艇のマストに“ 錨泊灯 ” と “ 赤色灯縦 2 つ ” を点灯し、アウターマークには “ ストロボライト “ が点滅する。
- 12-3 日没後のフィニッシュは、フィニッシュの “ 5 分前 ” までに A 符号 (・) を発光信号で連送し予告すること。
- 12-4 フィニッシュ時は自艇のメインセールをライトで照射し、フィニッシュ艇が確認しやすいようにすること。
- 12-5 ケブラーセール・ブラックセール艇は光が反射セールナンバーを確認できない場合があるので、自艇のセールナンバーを発声にてフィニッシュ艇に申告すること。

## 13 . タイムリミット

- 13-1 10月17日(日曜日) 12:00
- 13-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNFと記録される。(RRS35の変更)

## 14 . 航跡図への記入

- 14-1 神子元島灯台を “ MAG. 0° ” に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必要事項を正確に記入しなければならない。

## 15 . 無線通信

15-1 参加艇は下記の要領で必要な無線連絡を行わなくてはならない。

- \* 定時ロールコール 18:05, 00:05, 06:05, 12:05 からリスト順に従いロールコールを行う。  
報告事項 定められたロールコール時刻の自艇の位置(度、分のみ)、艇、乗員の状況など  
(こちらからリクエストがあった場合は風向、風速、艇速も連絡)
- \* 想定されるフィニッシュタイムのおよそ1時間前のフィニッシュ予告連絡。

15-2 付則-1の神子元島レース通信規定に従い運用すること。

15-3 定められた通信を行わなかった場合はタイムペナルティーとして所要時間の20%ペナルティーを課すことができる。

## 16. レースの中止

16-1 スタートリングボートに“N旗”を掲揚し“音響3声”を発する。

16-2 “N旗”は“音響1声”とともに次の信号の1分前に降下される。

16-3 スタートリングボートに“N旗”と“A旗”が掲揚され“音響3声”を発してレースを中止した場合、参加各艇は直ちに帰港するものとする。

16-4 その後の通告は、公式掲示板に定められた方法にて行う。

## 17. インスペクション

17-1 インスペクターはレース委員長によって任命され、事前・レース後に規定に適合しているか否かをチェックする権限を持つ。

17-2 フィニッシュ直後のインスペクションはレース委員長の判断によりフィニッシュした艇に対して実施される場合もある。しかし、気象、海象及び時間帯など、インスペクターの安全の確保が出来ないとレース委員長が判断したときは行わない。

## 18. 失格に代わる罰則

18-1 RRS 第2章の規則違反に対し、720度回転のペナルティーを適用する。

18-2 オフショアレースにおいてRRS29.1又は30.1に違反した艇は、失格に代わる罰則として20%の順位ペナルティーを課する。

18-3 順位ペナルティーが課せられた場合には、参加艇数を基準として計算された最も近い整数(小数点以下1位を切り上げ)とする。

## 18. レース本部

18-1 レース本部

場所 : 三崎マリントラス

設置期間 : 2004年10月16日(土)07:00~ 10月17日(日)17:00まで

18-2 公式掲示板

場所 : 三崎マリントラス

設置期間 : 2004年10月16日(土)07:00~ 10月17日(日)17:00まで

## 18-3 連絡先

電話番号 090-2338-4351 (予備)090-4820-7060

ファクス番号 090-2327-3717

## 19. レース委員会・プロテスト委員会

実行委員長 : 古川 肇

レース委員長 : 山下 博史

付則-1

通信規定 (国際、マリン VHF 及び携帯電話による通信方法、時間はすべて JST)

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
VHF 使用 チャンネル <b>71ch</b>  スタート前 の 通話確認	10:00 - 10:30	本部 各艇	本部から <b>コールサイン 感度はいいですか</b>  レース艇から <b>コールサイン 感度良好</b>  <b>通信終わり</b>	VHF、携帯電話ともに接続性、通話感度、明瞭度等の確認を行う。 *呼出方法 レース委員会が各艇を順次呼びだす。 携帯電話では2度の接続不可の場合、申告された2台目の携帯電話に接続を試みる。
定時ロールコール	18:05 00:05 06:05	本部 各艇	コールサイン 位置(緯度・経度) 連絡内容、気象・海象 艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同運用手順とする。 視認できる艇、船舶があれば本部に連絡する。
		本部 各艇	<b>確認、依頼</b>	各艇に常時通信が可能となる指示する場合もある。
フィニッシュの予告	予定1時間前	当該艇 本部	レース本部 自艇コールサイン 小網代灯浮標まで xx マイル 艇速 xx ノット フィニッシュ予定時刻 通信終わり	VHF71ch か携帯電話にて連絡をとる。

\* 事故防止、捜索協力等のために VHF、携帯電話での義務事項を以下に定める。 \*

- VHF : 1 スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のため CH16 を聴取常時受信可能な状態にしておくこと。
- 2 毎時 05 分から、CH71 の聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。  
(マリン VHF 相模湾センター CH88 09:00 - 17:00、毎時 0 分から国際 VHF で聴取可能)
- 3 本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。  
また、依頼された艇は中継に協力すること。
- 4 CH16 は呼出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

携帯電話：スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておくこと。

本部電話番号 (変更がある場合は公式掲示板で通知する)

本部-1	<b>090-2338-4351</b>
本部-2	<b>090-4820-7060</b>